

西胆振地域における病床機能再編事業計画書について

- 次の3医療機関から標記計画書の提出がありましたので、御査収くださいますようお願いいたします。
- 各医療機関から提出されました計画内容に対する御意見等がございましたら、別紙「協議事項等に係る意見等回答票」に記載いただきまして、2月14日(火)までに御回答くださいますようお願いいたします。

1 計画概要

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護施設等 移行	合計	備考	
①	日鋼記念病院	再編前	36	329	0	114	0	0	479	コロナ終息後の人材確保、病床利用率を見据えた病床削減
	再編後	18	263	0	67	0	0	0	348	
	増減	▲18	▲66	0	▲47	0	0	0	▲131	
②	伊達赤十字病院	再編前	0	127	43	87	57		314	医療機能の役割分担、介護との連携強化を見据えた病床削減
	再編後	0	135	43	43	49			270	
	増減	0	8	0	▲44	▲8	0	0	▲44	
③	豊浦町国民健康保険病院	再編前	0	0	0	60	0		60	回復期・慢性期患者を受け入れる後方支援病院の役割を担うための病床機能転換(一般→療養)
	再編後	0	0	0	60	0			60	
	増減	0	0	0	0	0	0	0	0	

2 参考資料

上記①～③の事業計画を踏まえまして、地域医療構想等と単純比較した病床数を整理しております。

西胆振地域における病床機能再編事業計画書

(地域医療構想の達成に必要な病床の削減等について)

開設者名	社会医療法人 母恋																																			
医療機関名	日鋼記念病院																																			
地域の状況 〔 圏域における役割等 〕	西胆振地域の総人口は、平成27年（2015年）に約19万人であったが、令和7年（2025年）には約16万人に減少すると予測されている。また、高齢化率は2025年には約39%に達すると予測されている。 このような西胆振地域には、主に急性期医療を担う総合病院が4病院存在しており、当院は、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院に指定されている。																																			
計画完了日までの病床減少又は統合の変遷	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>高度急性期 a</th> <th>急性期 b</th> <th>回復期 c</th> <th>慢性期 d</th> <th>休棟等 e</th> <th>合計 a~e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年1月1日時点 〔現状〕</td> <td>36</td> <td>329</td> <td>0</td> <td>114</td> <td>0</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕</td> <td>18</td> <td>263</td> <td>0</td> <td>67</td> <td>0</td> <td>348</td> </tr> <tr> <td>病床数増減</td> <td>▲ 18</td> <td>▲ 66</td> <td>0</td> <td>▲ 47</td> <td>0</td> <td>▲ 131</td> </tr> </tbody> </table>	区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e	許可病床数							令和5年1月1日時点 〔現状〕	36	329	0	114	0	479	令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕	18	263	0	67	0	348	病床数増減	▲ 18	▲ 66	0	▲ 47	0	▲ 131
区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e																														
許可病床数																																				
令和5年1月1日時点 〔現状〕	36	329	0	114	0	479																														
令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕	18	263	0	67	0	348																														
病床数増減	▲ 18	▲ 66	0	▲ 47	0	▲ 131																														
削減又は統合のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ R4年11～12月 病床機能再編事業計画書案の院内周知及び意見集約同案に係る法人内での承認 ・ R5年 1～ 3月 西胆振区域地域医療構想調整会議における合意院内における各種調整医療法上の事務手続き 																																			
本計画が地域医療構想の達成に資すると考えられる理由 〔 病床削減等により圏域における役割、他医療機関との機能分担・連携のあり方等 〕	<p>西胆振区域における地域医療構想において、将来的な医療需要の減少が見込まれている中、当院においては、新型コロナウイルス感染症のまん延前から病床稼働率が下降傾向にあることや、他医療機関との機能分担や連携のあり方なども含め、病床機能の再編について検討を進めてきたところである。今回の計画では、新型コロナウイルス感染症の終息後の人材確保や病床稼働率を見据え、令和4年度末までに、上記のとおり病床削減を実施することとする。</p> <p>なお、西胆振区域で不足している高度急性期病床については、他の病床機能と比較しても病床稼働率の低下（HCU 平成25年度：58.1% / 平成30年度：39.9% / 令和3年度：19.0%）が著しく、今後も病床稼働率の回復が見込めないこと等を踏まえ、削減するものである。今回の病床削減によって生じた人的余裕については、外来機能の強化、がん診療連携拠点病院、周産期母子医療センター及び災害拠点病院としての役割を充実・強化するために充てることとし、これまでに以上に地域医療に貢献していくこととする。</p> <p>また、施設の大規模な改修等は予定していないため、自然災害等が発生した場合などに備え、臨時的な病床等として活用できるよう検討することとする。</p> <p>他医療機関との機能分担や連携のあり方については、現状を維持しつつ、現在休止中の「室蘭市地域医療連携再編協議会」の再開等により、協議・検討を進めることとする。</p>																																			

西胆振地域における病床機能再編事業計画書

(地域医療構想の達成に必要な病床の削減等について)

<p>開設者名</p>	<p>日本赤十字社 社長 清家 篤</p>																																			
<p>医療機関名</p>	<p>総合病院 伊達赤十字病院</p>																																			
<p>地域の状況 〔 圏域における役割等 〕</p>	<p>伊達市を含む西胆振医療圏の総人口は今後も減少が見込まれるものの、高齢者人口の割合は当面の間増加傾向と見受けられる。高齢者に多い疾患や救急、急性期医療などに対する医療受給についても、当面大きな減少は考えにくいことから、伊達市、壮瞥町、豊浦町、洞爺湖町の急性期、そして西胆振医療圏の回復期を中心に医療を展開、高度急性期は室蘭へ、慢性期の患者様は慢性期専門の医療機関へ機能分化を考慮しながら、更には訪問看護の充実、災害医療、へき地医療、新型コロナウイルス感染症対応も含め、安定的かつ継続的に地域医療へ貢献していく。</p>																																			
<p>計画完了日までの病床減少又は統合の変遷</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>高度急性期 a</th> <th>急性期 b</th> <th>回復期 c</th> <th>慢性期 d</th> <th>休棟等 e</th> <th>合計 a~e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年1月1日時点 〔現状〕 (7)</td> <td>0</td> <td>127</td> <td>43</td> <td>87</td> <td>57</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕 (1)</td> <td>0</td> <td>135</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>49</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>病床数増減 (1-7)</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>▲ 44</td> <td>▲ 8</td> <td>▲ 44</td> </tr> </tbody> </table>	区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e	許可病床数							令和5年1月1日時点 〔現状〕 (7)	0	127	43	87	57	314	令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕 (1)	0	135	43	43	49	270	病床数増減 (1-7)	0	8	0	▲ 44	▲ 8	▲ 44
区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e																														
許可病床数																																				
令和5年1月1日時点 〔現状〕 (7)	0	127	43	87	57	314																														
令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕 (1)	0	135	43	43	49	270																														
病床数増減 (1-7)	0	8	0	▲ 44	▲ 8	▲ 44																														
<p>削減又は統合のスケジュール</p>	<p>【7階 [44床]】 平成25年10月 一般病棟入院基本料7対1入院基本料 平成25年11月 療養病棟入院基本料2 平成26年 3月 療養病棟入院基本料1 令和 5年 3月 療養病棟入院基本料1 ⇒ 廃止 (慢性期：44床 → 0床) 令和 5年 4月 急性期一般入院基本料1 ⇒ 変更 (急性期：0床 → 44床) ※ 3階から機能移転</p> <p>【3階 [36床]】 令和 5年 3月 急性期一般入院基本料1 ⇒ 休棟 (急性期：36床 → 0床) ※ 7階へ機能移転</p>																																			
<p>本計画が地域医療構想の達成に資すると考えられる理由 〔 病床削減等により圏域における役割、他医療機関との機能分担・連携のあり方等 〕</p>	<p>西胆振区域では、地域医療構想における慢性期病床は過剰とされており、当院が所在する伊達市、近隣の壮瞥町、豊浦町、洞爺湖町においても、地域的に充足しているものと考えられるほか、医療機関の退院後における長期療養生活の場として、日常生活に必要な医療処置や看取り体制等の機能を備えた介護医療院も所在している。 当院としては、このような状況や今後の地域における医療機能の役割分担、介護との連携強化を考慮しながら、中核医療機関の役割維持、救急医療の提供体制を確保していくことが必要であることから、今回、療養病床（慢性期：44床）を廃止する結論に至ったものである。</p>																																			

西胆振地域における病床機能再編事業計画書
 (地域医療構想の達成に必要な病床の削減等について)

<p>開設者名</p>	<p>豊浦町</p>																																			
<p>医療機関名</p>	<p>豊浦町国民健康保険病院</p>																																			
<p>地域の状況 〔 圏域における役割等 〕</p>	<p>公立病院は、地域医療の確保や多様な患者ニーズに対応する社会的使命を果たすことが求められているなか、当院は、町内唯一の病院であり、町内住民を主に一次医療を行っており、住民が必要とする救急医療、高度医療、がん診療等の早期発見と治療対応する医療機関への紹介、繋ぎ役を担っている。</p>																																			
<p>計画完了日までの病床減少又は統合の変遷</p>	<table border="1" data-bbox="475 741 1430 1088"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>高度急性期 a</th> <th>急性期 b</th> <th>回復期 c</th> <th>慢性期 d</th> <th>休棟等 e</th> <th>合計 a~e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>令和5年1月1日時点 〔現状〕 (7)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>60</td> <td>0</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕 (1)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>60</td> <td>0</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>病床数増減 (1-7)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 一般病床から療養病床への機能転換</p>	区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e	許可病床数							令和5年1月1日時点 〔現状〕 (7)	0	0	0	60	0	60	令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕 (1)	0	0	0	60	0	60	病床数増減 (1-7)	0	0	0	0	0	0
区分	高度急性期 a	急性期 b	回復期 c	慢性期 d	休棟等 e	合計 a~e																														
許可病床数																																				
令和5年1月1日時点 〔現状〕 (7)	0	0	0	60	0	60																														
令和5年4月1日時点 〔計画完了(予定)日〕 (1)	0	0	0	60	0	60																														
病床数増減 (1-7)	0	0	0	0	0	0																														
<p>削減又は統合のスケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ R3年 9~12月 病院改革プラン案の策定において、具体的取組の一項目として療養病床への転換を検討 病院改革プラン内容について、職員への研修、周知、意見集約 ・ R3年12~R4年1月 同案に係る豊浦町議会議員協議会への説明 ホームページによるパブリックコメントの実施 ・ R5年 1~ 3月 西胆振区域地域医療構想調整会議における合意 院内における各種調整 医療法上の事務手続き 																																			
<p>本計画が地域医療構想の達成に資すると考えられる理由 〔 病床削減等により圏域における役割、他医療機関との機能分担・連携のあり方等 〕</p>	<p>本院は、一般病床60床を持つ急性期病院として、町民が何時でも安心して通院できるかかりつけ医として、医療の提供を行ってきた。 今後は「豊浦町国民健康保険病院改革プラン」に基づき、現状を維持していくほか、急性期を脱した患者に対して、回復期や慢性期、自宅での療養を希望される方には在宅医療に可能な限り対応できるよう、併設する総合保健福祉施設と連携し、医療、介護、生活支援などのサービスを切れ目なく提供できる病院を目指すとともに、圏域内医療機関からの回復期・慢性期患者を受け入れる後方支援病院としての役割を担うため、一般病床から療養病床へ病床機能を転換（慢性期：60床増減なし）することとした。</p>																																			

西胆振区域における地域医療構想と現状における病床数の比較

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
地域医療構想における必要病床数 【2025 (R7) 年 [推計]】	279	800	620	1127		2826
病床機能再編事業計画完了後 【令和5年4月1日】	38	1212	608	1130	207	3195
地域医療構想の推進に関する意向調査 【2025 (R7) 年 [予定]】	112	1259	563	1177	191	3302
過不足	▲ 241	412	▲ 12	3	207	369
	▲ 167	459	▲ 57	50	191	476

注1) 病床数 ~ 許可病床数 (一般病床・療養病床)

2) (7) ~ 西胆振区域地域医療構想における必要病床数 (推計)

3) (1) ~ 第3回 (今回) 地域医療構想調整会議における病床機能再編事業計画 (①~③) 完了後の病床数

4) (7) ~ 一般病床及び療養病床を有する医療機関を対象に毎年実施 (令和4年度: 令和4年10月7日付け胆保企第2332号)